



しぜんとなかよし

5感を引き出す土台作り

（心おどる環境を整え・・・福島 naturally を楽しむ大人になるように・・・）



学校法人 福島愛隣学園 認定こども園 福島愛隣幼稚園

2020年 井戸水を利用した ビオトープ完成

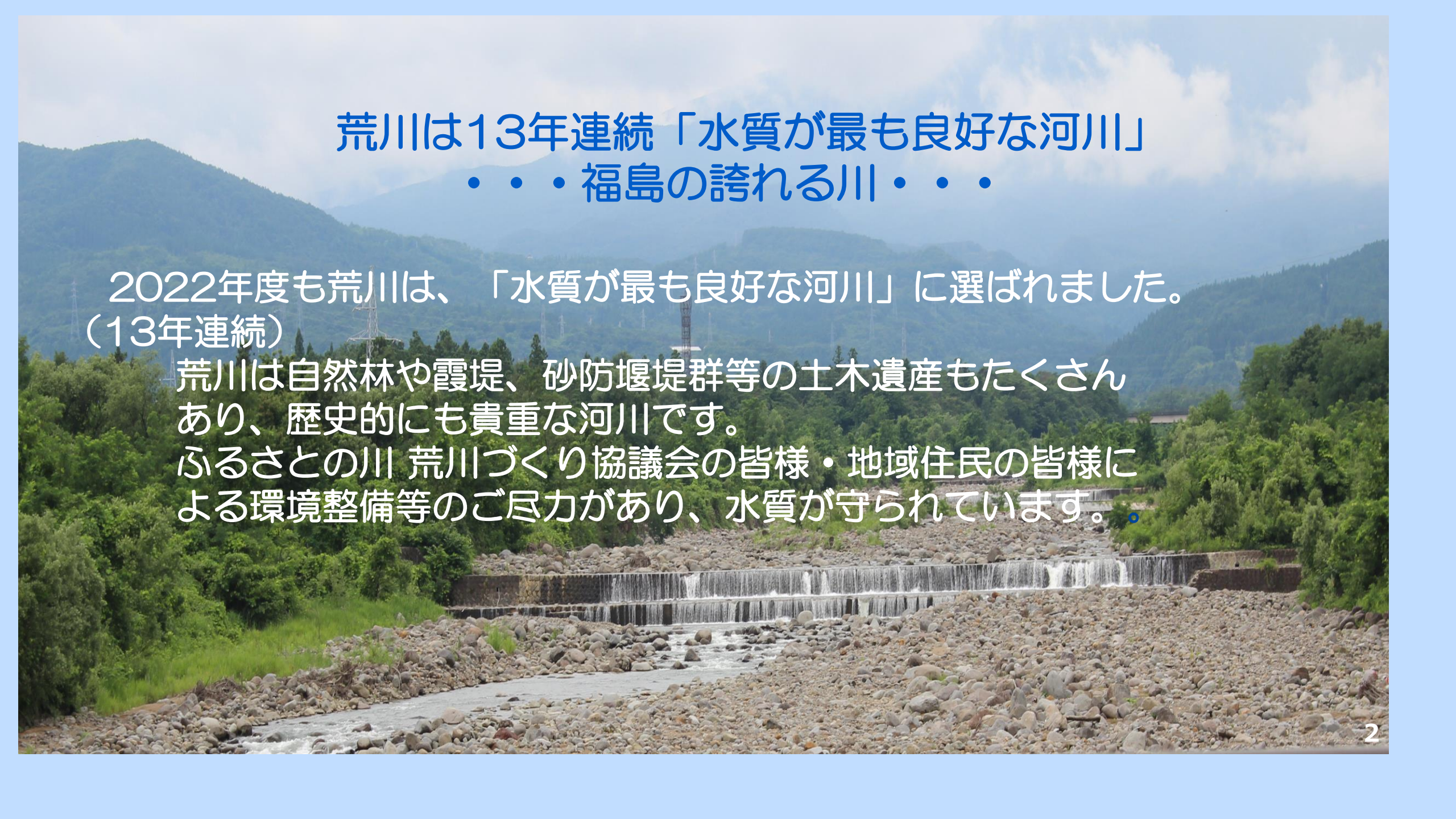
ビオトープの目的

子どもたちが自然とふれ合う機会を増やし、自然の教材として、見る、触れる、感じるといった5感をフルに動かす場所。

身近な自然は、子どもたちの「育ち」や「学び」に欠かすことのできない「環境」です。

ビオトープをきっかけに、水や川の保全を常に意識づける事ができました。





荒川は13年連続「水質が最も良好な河川」 ・・・福島の高れる川・・・

2022年度も荒川は、「水質が最も良好な河川」に選ばれました。
(13年連続)

荒川は自然林や霞堤、砂防堰堤群等の土木遺産もたくさんあり、歴史的にも貴重な河川です。
ふるさとの川 荒川づくり協議会の皆様・地域住民の皆様による環境整備等のご尽力があり、水質が守られています。

井戸の目的



＊私たちの役割＊

- ①荒川の清流を守る事で私たちの生活も未来も守る事ができる。
- ②水の正しい活用の仕方をしっかり子どもたちに伝える。

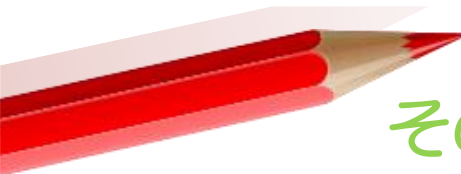


井戸のもう一つの 目的

2011・3・11（東日本大震災）

水の大切さを知った2週間。

水道が止まり学習センターの給水車前に子どもから大人まで
水を求めて、ペットボトルやポリタンクを抱え、
長い行列を並んだ記憶があります。



その経験から園に井戸があれば災害時、子どもたちはもちろん
地域の皆様に利用していただける。
そんな思いもあります。

荒川の水資源は長年にわたり、地域の方々が
守り育てて下さった宝です。



私たちの日常生活に欠かすことのできない水。
ビオトープをきっかけに、子どもたちと水の大切さ、水を守る等、常に意識し過ごすようになりました。
全ての人々の心がけで持続可能な水の管理が行えるよう、小さなビオトープから伝えています。
クローバーも育ち、虫や蛙・メダカや金魚が生息し子どもたちも5感を使い遊べるような場所となりました。

未満児クラス



みんなで食べると
苦手な物にも
チャレンジするよ



にわとりの
赤ちゃん
かわいいね

定員
0歳児：6名
1歳児：20名
2歳児：20名

基本的な生活習慣を
整えるために・・・

「思いっきり体を動かす」
「よく食べる」
「ぐっすり眠る」
を大切にしています。



午後の備えて
充電中

しぜんとなかよし

当園の畑



ビオトープ

<フルーツ畑>
いちご・メロン
さつまいも
<サラダ畑>
きゅうり・ピーマン・
とまと・オクラ・
ブロッコリー
<カレー畑>
玉ねぎ・にんじん・
ズッキーニ・なす



赤くて大きい
のみ〜つけた



0歳児 人としての根っこ（土台）

1歳になったばかりの園児でも
1人で座り1人でつまんで
しっかり食べます。



0歳児
なりに

いろいろな
事を考えて
楽しんでいる
笑顔を
大切に
しています。

人としての
根っこ
（土台）が
安定して
育つように

冷たくて気持ち良い～



よいしょ！



0歳児 園庭

0歳児の園庭は部屋のすぐ側にあります。



外は気持ち良いね
太陽の光、風、葉っぱの感触、
匂い、開放感、子どもの5感を
刺激する要素が詰まっています。



滑り台は
あそびながら
足腰が
鍛えられます。

0歳児 園庭

芝の庭はチクチク
虫たちもあそびにきます。



0歳児園庭 心おどる環境に！

吾妻山と荒川をイメージした
園庭

吾妻山をイメージした
なだらかな段差の山
安心して
移動できます

いつでも外で遊べる環境で
5感を刺激し
子どもの「もっと」を育てます

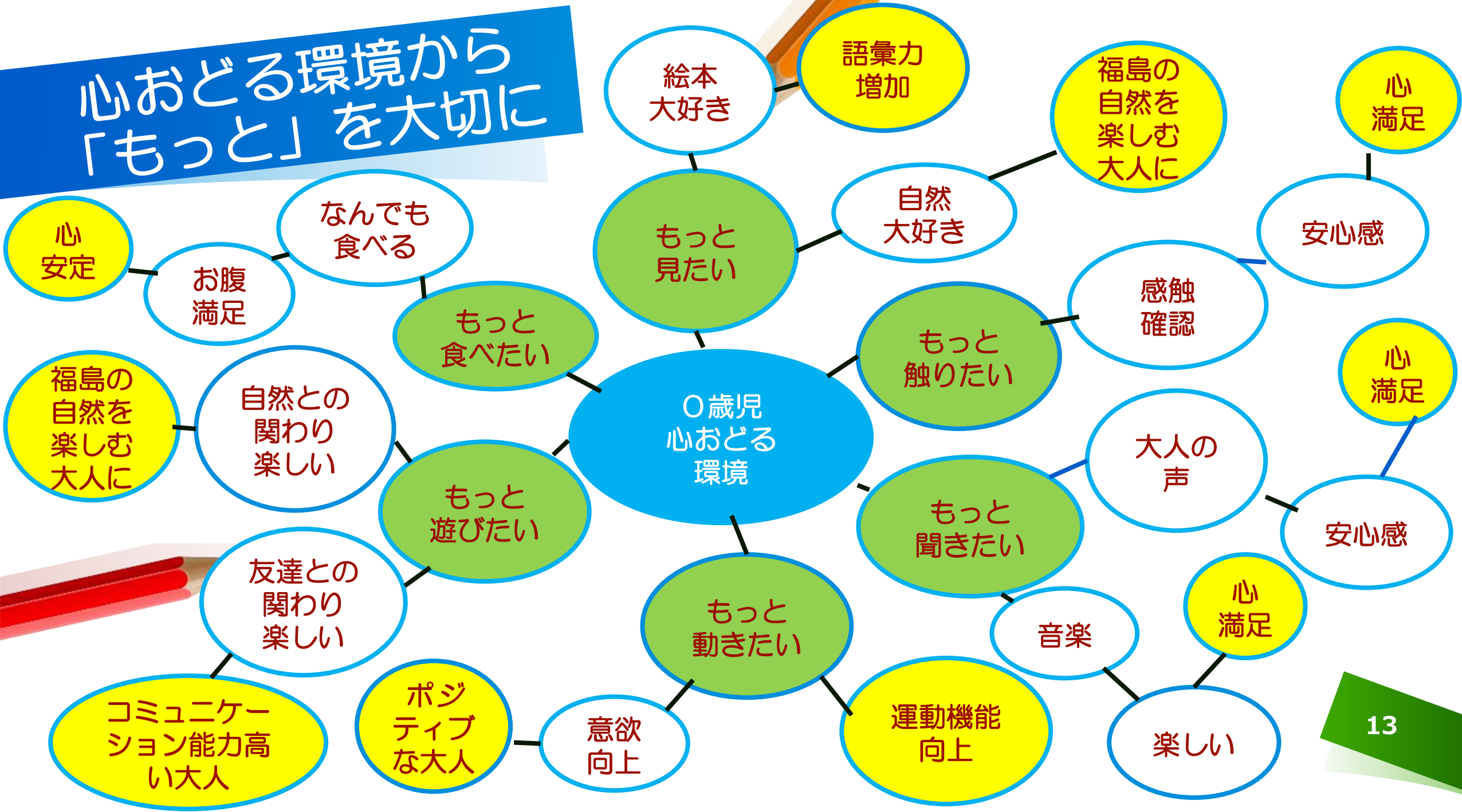
水道
水の感触を楽しむ
野菜の水やりもでき
ます

クッション性の人工芝
転んでも大丈夫

荒川をイメージした
曲線のライン
はいはいしたり
歩いたり



心おどる環境から 「もっと」を大切に



しぜんとなかよし 福島を自然を楽しむ大人へ

0歳児の環境を整えることで、人としての根っこ（土台）の部分が安定し、もっと動きたい、もっと自然を感じたいと、何に対しても意欲をもって生活します。

さらに自然にも積極的に関わり園の中でも（ビオトープ）「発見」や「冒険」を経験し、5感が刺激され、豊かな感性が育まれます。

そしてここで育った子どもたちが福島を自然を楽しむ大人になるよう願います。

園庭から見える吾妻山を一切経山から眺めてみました

